

林業の労働災害発生状況（令和6年）

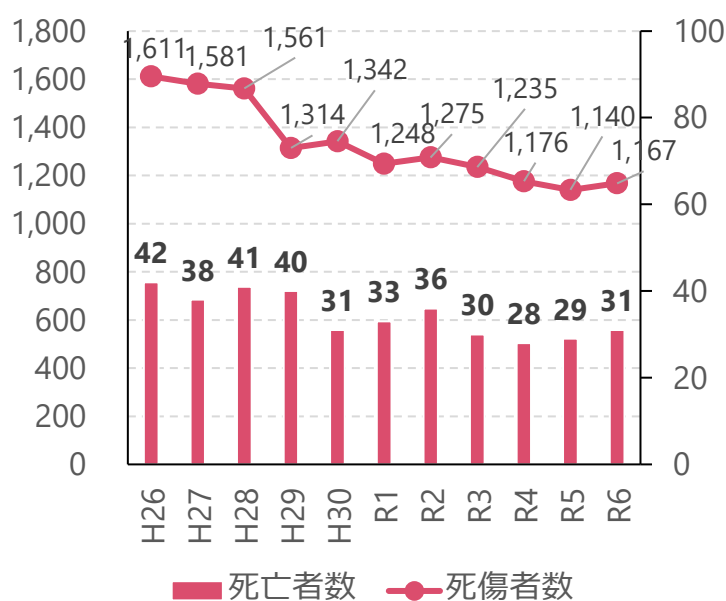
兵庫労働局安全課

1 労働災害発生状況の推移

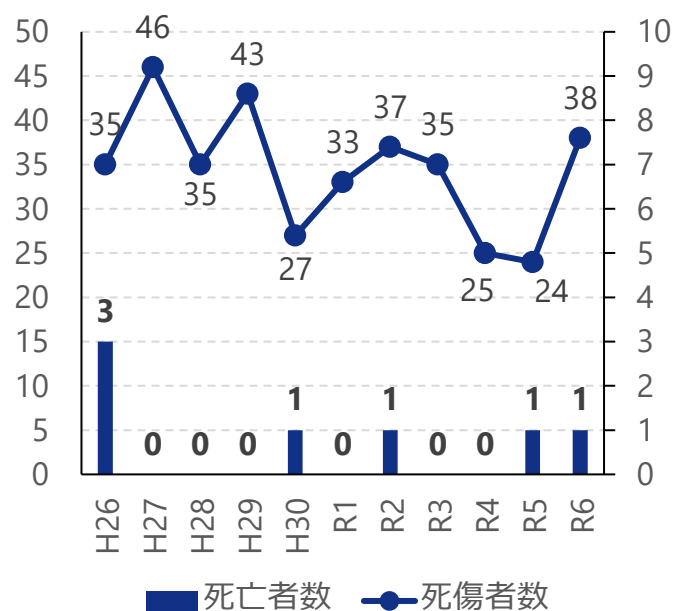
林業における労働災害は、長期的にみると減少傾向にあります。

令和6年の全国の休業4日以上死傷者数（以下「死傷者数」）は1,167人で前年より27人増加しました。死亡者数は31人で前年より2人増加しました。兵庫県内における林業の死傷者数は38人で、前年より14人増加しました。死亡者数は1人です。（令和4年及び5年は新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く。）

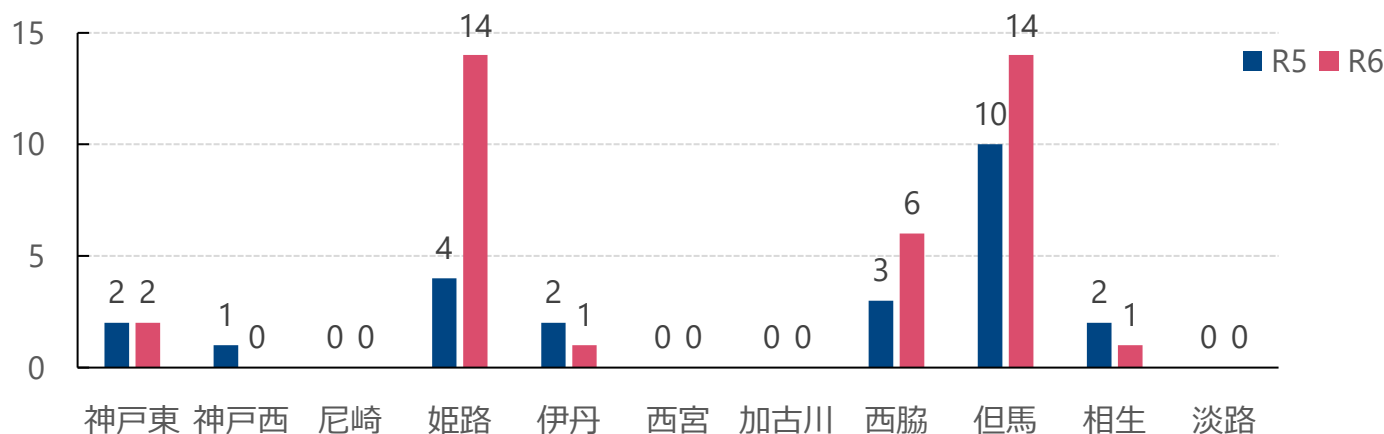
全国の労働災害発生状況



兵庫県の労働災害発生状況

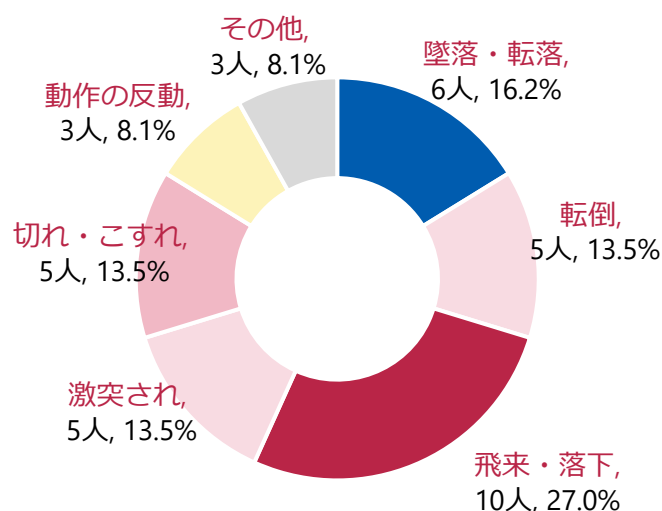


2 労働災害発生状況 -署別-



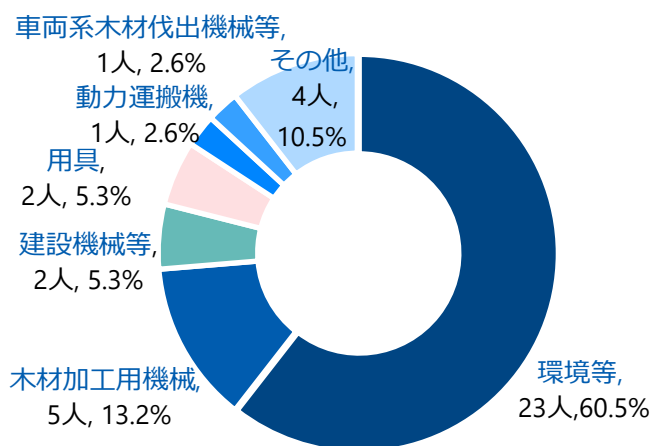
資料出所：労働者死傷病報告

3 労働災害発生状況 -事故の型別-



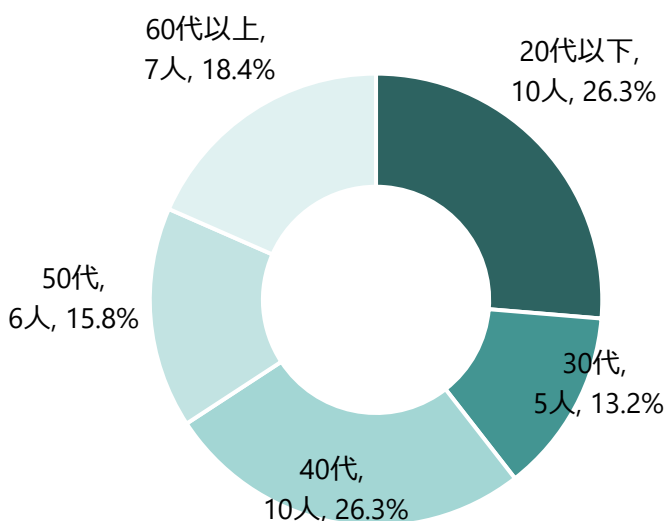
飛来落下災害が10人と最も多く発生し、次いで墜落転落災害が6人となっております。その他は、激突、倒壊・崩壊、はさまれ・巻き込まれによるもので各1人となっております。

4 労働災害発生状況 -起因物別-



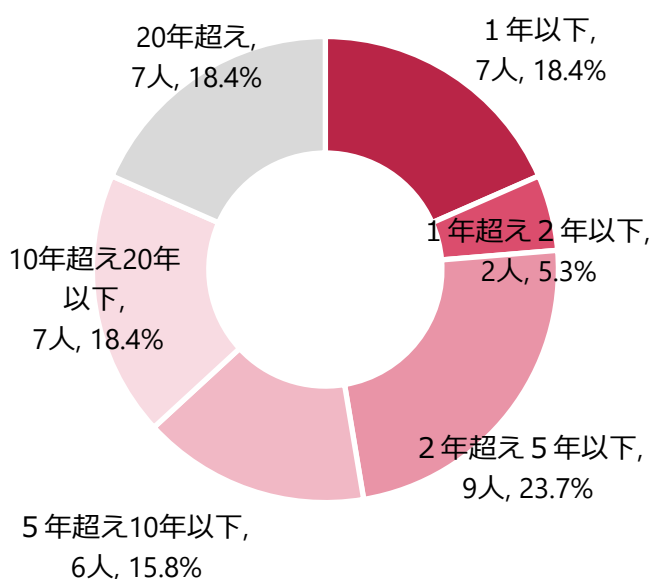
環境等23人の中には、立木等によるものが15人含まれており、木材加工用機械の5人中4人はチェーンソーによるものです。

5 労働災害発生状況 -年齢別-



20歳代と40歳代で被災が多く目立ちますが、60歳以上の高齢者でも多く被災している状況です。

6 労働災害発生状況 -経験年数別-



経験年数の浅い方からベテランの方まで幅広く被災していますが、比較的経験年数の浅い方の被災者数が目立つ状況です。

各グラフの合計値は、四捨五入した数値のため、必ずしも100%となるとは限りません。